一　般　質　問　発　言　通　告　内　容

個人第１号　　氏　名　　玉井　宰

質　問　項　目 No.　1	東部振興構想の進捗状況について	備考
要 旨	（１）東部まちづくりプラットフォームについて ア　登録者数について問う。 イ　取組状況について問う。	

質　問　項　目 No.　2	東部地区の各施設について	備考
要 旨	（１）市民四季の森の利便性向上について 水辺の音楽広場におけるステージなどの整備について問う。 （２）温水プール改修方針の検討状況について ア　改修方針の検討に際し、課題ととらえていることは何かを問う。 イ　進捗状況について問う。	

個人第２号　　氏　名　　小川　真由美

質　問　項　目 №　1	小牧山城について	備考
要旨	大河ドラマ「どうする家康」にて、小牧・長久手の戦いも描かれより一層、小牧山城が全国から注目されています。また大河ドラマ「どうする家康」プレミアムトーク in 小牧市では、豊臣秀吉役のムロツヨシさんと織田信雄役の浜野謙太さんのトークショーが小牧市市民会館ホールで催されました。今や全国から小牧山城へ、市内外多くの方が歴史や自然を楽しみ、観光に来られています。 （１）五段坂について 再三にわたり質問をしてまいりましたが、北側園路からアクセスとなる五段坂の整備はどのようになっていますか。 （２）園路の整備について 特に、自然遊歩道に木々が飛び出ていたり、草が茂り歩きづらいとの事です。整備や剪定すべきと思いますが、所見を問います。 （３）小牧山スタンプラリーについて 現在行われている「ぐるぐるめぐる！小牧山スタンプラリー」の詳細を伺います。 （４）小牧山歴史館について 令和５年４月１日に、小牧市歴史館から小牧山歴史館としてリニューアルオープンしました。オープンから半年経ちましたが、効果はいかがですか。 （５）観光について 小牧山城の観光を盛り上げる取組について伺います。	

個人第３号　　氏　名　　星熊　伸作

質　問　項　目 No.　1	互いに認め合う地域共生社会の実現について	備考
要旨	（１）全庁的な障がい者情報アクセシビリティの対応について ア　障がい福祉における日常生活用具の中で、視覚障がい者用の情報・意思疎通支援用具の主な種類と交付状況について伺う。 イ　公的な通知を発送する場合の封筒に音声コードを記載してはどうか伺う。 ウ　水道使用水量等のお知らせの検針票に音声コードを記載してはどうか伺う。 エ　小牧市防災ガイドブックに音声コードを掲載する考えはあるか伺う。 （２）合理的配慮の義務化における周知と提供について ア　事業者による合理的配慮の提供が、義務化されることへの周知や働き掛けはどのように行うのか伺う。 イ　事業者による合理的配慮の提供が、義務化されることから今後、事業者へのセミナー等の開催の考えはあるか伺う。	

個人第４号　　氏　名　　木村　哲也

質　問　項　目 No.　1	生ごみの分別収集によるごみの減量化対策について	備考
要旨	国内では、分別収集が浸透している日本のリサイクル率は、高いと思われがちだが、実は、他のＯＥＣＤ諸国に引き離されており、その要因のひとつが生ごみの扱いであると言われている。 一般に「燃やすごみ」の４割は厨芥類、すなわち「生ごみ」と言われ、その重量の８割が水分である。燃やしにくい生ごみを燃やすため多く燃料を使用すれば、二酸化炭素排出量もより多くなる。 衛生面を考えて、焼却炉施設等で生ごみを焼却する考え方が主流であるが、循環型社会の実現を考える上では、見直しが必要になってきているのかもしれない。 （１）本市で排出される家庭系ごみについて ア　現状について問う。 イ　燃やすごみのうち、生ごみの占める割合について問う。 ウ　現行の生ごみの減量対策とその効果について問う。 （２）生ごみの分別収集について ア　先行実施している自治体の取組状況について問う。 イ　先行実施している自治体の実施効果について問う。	

個人第５号　　氏　名　　加藤　晶子

質　問　項　目 No.　1	プレコンセプションケアの推進について	備考
要 旨	（１）プレコンセプションケアの啓発について 　プレコンセプションケアにつながる啓発について、取組の現状を伺う。 （２）学校教育における取組について 　「生と性のカリキュラム」を実施し、長年取り組まれているが、取組の現状を伺う。 （３）プレコンセプションケアチェックシートの活用について 　プレコンセプションケアを自身で確かめることができるチェックシートの活用を本市でも実施できる仕組みができないか伺う。 （４）今後の取組について 　若年世代の健康管理を促すため、プレコンセプションケア健診などを実施してはどうか伺う。	

質　問　項　目 No.　2	養育費確保に向けた支援制度について	備考
要 旨	（１）離婚に関する相談支援について 　離婚前後の相談窓口について、取組の現状を伺う。 （２）養育費確保の現状について 　児童扶養手当を受給しているひとり親家庭の養育費分担の取り決めの有無や養育費を受けている割合等の実態把握の現状を伺う。 （３）公正証書作成費用等の補助について 　養育費に関する公正証書作成費用等に対して補助する考えはないか伺う。	

個人第６号　　氏　名　　石田　知早人

質　問　項　目 No.　1	こども食堂の支援について	備考
要旨	地域に住む子ども達に、無料又は低額で栄養のある食事を提供したり、温かな団らんを提供する「こども食堂」は、現在、全国に広がっている。民間発の自主的・自発的な取組であるため、目的は、孤食の解消、食育、子ども達に限らず、地域住民を含めた地域交流の場づくりなど様々である。国はこどもの居場所づくりとして「こども食堂」を推進しているが、その運営は、ほぼボランティアで行われており、資金面などで苦境に立たされている食堂もあると聞いている。 （１）市内の「こども食堂」の支援について ア　現在、市内に「こども食堂」は何か所あるのか問う。 イ　国はこどもの居場所づくりとして「こども食堂」を推進しているが、現状、本市ではどのように「こども食堂」を支援しているのか問う。 ウ　県内では、「こども食堂」の運営費を補助している市町もあると聞くが、他市町の状況を問う。	

個人第７号　　氏　名　　熊澤　一敏

質　問　項　目 No.　1	産業集積の促進について	備考
要 旨	（１）本市の産業について 産業集積の特徴について伺う。 （２）本市における企業立地の状況について ア　工場等の新規立地の実績について伺う。 イ　現在の補助制度について伺う。 ウ　立地に対する課題について伺う。	

個人第８号　　氏　名　　山田　美代子

質　問　項　目 No.　1	小牧市温水プールについて	備考
要 旨	（１）温水プールの管理について 　ア　これまでどのような点検を行ってきたのか、内容を問う。 　イ　点検結果を受けての改修等を問う。 （２）温水プール休館について 　ア　令和３年度以降の休館した期間と理由について問う。 　イ　休館中の情報発信をどのように行ってきたのかを問う。 （３）温水プール改修方針について 　ア　検討内容を問う。 　イ　改修方針がいまだに決まらない理由を問う。	

個人第９号　　氏　名　　安江　美代子

質　問　項　目 No.　1	水道水における有機フッ素化合物について	備考
要 旨	（１）市の水道水における有機フッ素化合物の状況について ア　水質検査は年何回、どの場所で行っているのか問う。 イ　それぞれの測定値について問う。 ウ　数値基準はどのように設置しているのか問う。 エ　市の水道水は安全に保たれているのか問う。 （２）今後の対応について 引き続き水質検査と市民への公表をすべきと思うが、見解を問う。	

質　問　項　目 No.　2	自衛隊への名簿の提供について	備考
要 旨	（１）根拠法について ア　法的根拠について問う。 イ　どのような方法で提供しているのか問う。 ウ　除外申請を受け付けたのか問う。	

個人第１０号　　氏　名　　諸岡　英実

質　問　項　目 №.　１	子を持つ職員の育児短時間勤務制度拡大と職員配置の在り方について	備考
要 旨	公務員は、３歳まで「育児休業」、３歳から小学校入学までは１日の勤務時間を省略できる「部分休業」により休暇を取れる。しかし仕事と子育ての両立が困難になる「小１の壁」や「小４の壁」などに耐え得る両立支援と離職防止が求められる。 職員が子どもとの時間を大切にしながら、安心して働き続けることができる職場環境づくりを進める施策として「時短勤務」の利用を就学前までから、小学校３年修了時までや、小学校卒業まで拡大する自治体や企業が増えており、離職防止策として有効と考える。 （１）育児休業、部分休業、育児短時間勤務について ア　近年の職員の制度取得状況について伺う。 イ　近年の保育士の制度取得状況について伺う。 ウ　職種や部署によっては、制度を利用しづらい環境にある職員もいると考えるが、課題をどのように把握、評価しているか伺う。 （２）若手職員の離職回避について ア　若手職員の離職状況について伺う。 イ　制度取得が、昇任・昇格に直接影響しない人事管理を行うと共に、復帰支援やキャリア形成支援等の取組について伺う。 （３）育児休業、部分休業、育児短時間勤務の代替職員の配置について 一定の育児休業数等を見通した採用計画策定で制度取得者等のポスト補充を容易にするなど、配慮している取組はあるか。	

個人第１０号　　氏　名　　諸岡　英実

質　問　項　目 No.　2	マイナンバーカードについて	備考
要 旨	来年秋に現行の健康保険証を廃止し、マイナンバーカードと紐づけた「マイナ保険証」に一本化する政府方針を巡り、別人の情報が紐づいてしまう誤登録や、読み取り不具合トラブルが相次ぎ、市民の不安が高まっている。こうした事態から国は 11 月末までに総点検を自治体に要請している。 （1）マイナンバーカードの交付と利用状況について ア　現在の交付返納状況やコンビニ交付利用状況を伺う。 イ　コンビニ交付での誤交付等の有無について伺う。 ウ　国民健康保険証や後期高齢者医療保険証の利用申請状況について伺う。 エ　国民健康保険や後期高齢者医療のマイナ保険証の誤登録等の有無について伺う。	

個人第１１号　　氏　名　　小沢　国大

質　問　項　目 No.　1	出会い・結婚支援室の事業について	備考
要旨	新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが２類から５類に引き下げられた以降、様々なイベントに人が集まり活気が溢れているように感じる。コロナ禍では、こうしたイベントの機会が少なく婚活にも影響が出ていたと考えられる。本市においては、本年度出来たばかりではあるが出会い・結婚支援室が設けられ、これから多くの事業を通じて出会いの場の提供や、地方自治体の強みを活かした活動に期待が高まる所である。今後の出会い・結婚支援の進め方について問う。 （１）結婚に関する市民アンケートの結果について 令和５年第２回定例会にて、６月末に結婚に関する市民アンケートを実施し、結婚に対する意識や市が行う結婚支援策についてのニーズを把握し、本市の実情に合った結婚支援事業の判断材料とあったが、結果についてどのように考えているか問う。 （２）今後の具体的な取組について 今後は具体的な事業を展開し、出会いや結婚を支援していくと考えるが、どのような取組を行っていくのか問う。	

個人第１２号　　氏　名　　野々川　嘉則

質　問　項　目 No.　1	家屋の害獣駆除補助金創設について	備考
要 旨	現在、害獣駆除・防止に関しては、農作物被害に関する対策補助金制度がある。ハチの巣（スズメバチ）駆除もある。 一方、家屋等に侵入・住みついた害獣駆除に対する制度はない。 （１）害獣被害の状況について ア　これまで貸し出した捕獲檻はどれくらいあるのか問う。 イ　その捕獲檻で捕獲された害獣はどれくらいか問う。 ウ　家屋に住み着いた害獣被害はどれくらいあるのか問う。 （２）補助金制度創設について 現状、民間の駆除業者へ依頼し、現状確認・見積り後、駆除・再発防止対策を実施しているが、害獣の種類・状況により費用が高額となる場合がある。そこで、市として補助金制度創設の考えはないのか問う。	

質　問　項　目 No.　2	高齢者の孤独・孤立対策について	備考
要 旨	国において孤独・孤立対策推進法が令和５年６月に公布され、令和６年４月から施行される。 孤独・孤立の問題は以前からあるが、近年の核家族化や近所付き合いの減少、産業構造・雇用環境の変化等により、血縁や地域の関わりなど人と人とのつながりが薄くなり、近年、孤独・孤立は大きな問題になってきている。望まない孤独や社会的孤立は人を無力化し、生活困窮や貧困を招き、ひいては犯罪や自殺などにつながる。孤独・孤立は、人生のあらゆる場面において誰にでも起こり得るものであり、一定の年代や状況に限定されるものではないが、今回は増え続ける高齢者に焦点を当てる。 （１）孤独・孤立対策について ア　孤独・孤立対策として、見守り活動が重要と考える。高齢者見守りの現状について問う。 イ　人とのつながりの減少により、健康状況の悪化が心配される。健康状況把握の現状を問う。	

個人第１３号　　氏　名　舟橋　秀和

質　問　項　目 No.　1	小牧市中心市街地グランドデザインについて	備考
要 旨	（１）中心市街地まちづくりプラットフォームについて 取組状況について問う。 （２）小牧駅周辺整備事業について 進捗状況について問う。 （３）旧図書館跡地の公園整備について 進捗状況について問う。	